

岩手県 釜石市 日頭寺避難所

山本 晃士（総務部）



担当業務の内容

私は、東京都市長会からの要請に基づき、被災地における人的支援の稲城市第2陣として、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県釜石市において、市の職員が常駐していない避難所の運営支援業務を行いました。主な担当支援内容は以下のとおりです。

- (1) 人の管理（入退所や外出外泊、健康状態など）
- (2) 物の管理（物資の受入及び要求の取りまとめ）
- (3) 施設の管理（戸締まりやトイレ等の維持管理など）

派遣前に現地の詳細情報が得られず、不安の中現地入りいたしました。しかし、派遣先の避難所に入所されている避難者の方は、もともとと同じ地区にお住まいで、人数も少数であったため、既にコミュニティが形成されていて、自主的に炊事・掃除などを協力して運営しておりました。そのため、私たち派遣職員が管理するというよりも、避難者の方と生活を共にし、外部との窓口として対応する業務が主な内容でした。



避難者の話



他の避難所にくらべて避難者との距離が近いため、より身近な意見を聴くことができました。集団生活に馴染めずにストレスを感じている方、同じ市内であっても被害を受けた方と受けなかった方との温度差、積極的に支援に来てくれるボランティアの方のありがたさ等色々なお話をさせていただきました。その話の中で印象的であったのが、公務員として被災地に来て業務を行うことは貴重な体験であり、今後稲城市に帰ってからの業務やこれから起こるかもしれない災害に対し

て少しでも役に立つように、被災地を視察することを勧められたことでした。また、そこで見たことや聞いたことを伝えることも体験した者の義務であるとも仰っていました。

所感

勧めていただいたとおり、支援業務中に市内及び近隣の視察を、釜石市職員の方にご協力いただき行いました。ひどい有様であることは想像しておりましたが、実際に目の当たりにすると想像を絶する状況でした。そのことをいかに伝え、生かしていくかについて未だに答えは見つかっていませんが、そのような状況で、周りのこと、これからのことを案じていらっしゃる被災者の方々に応えるべく、これからも被災地支援や防災意識の向上に努めてまいりたいと思っています。

